

令和3年度

# 予算の概要

一 般 会 計 予 算  
特 別 会 計 火 葬 場 ・ 斎 場 事 業 費 予 算  
水 道 事 業 会 計 予 算  
病 院 事 業 会 計 予 算

長生郡市広域市町村圏組合



## 令和3年度 一般会計予算(案)概要

### ① 歳入

(単位:千円)

款	区 分	令和3年度当初		令和2年度当初		増減額 ③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
		予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比		
1	分担金及び負担金	4,565,264	69.6	4,536,823	66.9	28,441	0.6
2	使用料及び手数料	799,993	12.2	803,606	11.9	△ 3,613	△ 0.4
3	国 庫 支 出 金	469,230	7.1	330,613	4.9	138,617	41.9
4	県 支 出 金	30,312	0.5	51,031	0.7	△ 20,719	△ 40.6
5	財 産 収 入	13,024	0.2	19,220	0.3	△ 6,196	△ 32.2
6	寄 附 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
7	繰 越 金	20,000	0.3	20,000	0.3	0	0.0
8	諸 収 入	60,801	0.9	65,288	1.0	△ 4,487	△ 6.9
9	組 合 債	603,000	9.2	950,300	14.0	△ 347,300	△ 36.5
△	繰 入 金	0	0.0	1	0.0	△ 1	皆減
	計	6,561,625	100.0	6,776,883	100.0	△ 215,258	△ 3.2

### 主な増減理由

#### [ 1款 分担金及び負担金 ]

長生郡市広域市町村圏組合は、その性格上、主な財源を市町村負担金に依存しています。

令和3年度一般会計予算に占める負担金の割合は、69.6%で、前年度当初予算額に対して28,441千円、0.6%増の4,565,264千円を計上しました。

増額となった要因は、予算総額は215,258千円の減となったものの、ごみ収集業務委託料などの物件費や長生分署建設事業で借り入れた元金償還の増による公債費の増などによるものです。

#### [ 2款 使用料及び手数料 ]

前年度当初予算額に対して3,613千円、0.4%減の799,993千円を計上しました。

減額となった要因は、ごみ排出量の増に伴う燃えるごみ専用袋やごみ処理手数料など一般廃棄物処理手数料で11,120千円の増を見込んだものの、夜間急病診療所において受診患者の減少に伴い保健センター使用料で15,000千円の減を見込んだことによるものです。増減いずれも新型コロナウイルス感染症による影響を見込んだことによるものです。

#### [ 3款 国庫支出金 ]

前年度当初予算額に対して138,617千円、41.9%増の469,230千円を計上しました。

増額となった要因は、消防費補助金では令和2年度に採択されなかったことから財源を県支出金に変更したことで15,376千円の減となったものの、衛生費補助金でごみ焼却施設基幹的設備改良事業において交付対象事業費が増加したことに伴い二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金で162,013千円の増によるものです。

内訳としては、廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金で180千円、二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金で456,826千円、新最終処分場建設事業費に対する循環型社会形成推進交付金で12,224千円を計上しました。

#### [ 4款 県支出金 ]

前年度当初予算額に対して20,719千円、40.6%減の30,312千円を計上しました。

減額となった要因は、事業費の減少に伴い消防・救急体制整備費補助金で11,701千円、消防防災施設強化事業補助金で9,208千円の減によるものです。

内訳としては、千葉市、市原市の石油コンビナートに隣接する茂原市、長南町の消防施設整備に対する石油貯蔵施設立地対策等交付金で8,640千円、消防設備整備などに対する消防防災施設強化事業補助金で18,739千円、消防団員入団促進の広報・啓発に対する千葉県地域防災力向上総合支援補助金で334千円、東京オリンピックサーフィン会場前進待機所等借上料などに対する消防・救急体制整備費補助金で2,599千円を計上しました。

#### [ 5款 財産収入 ]

前年度当初予算額に対して6,196千円、32.2%減の13,024千円を計上しました。

減額となった要因は、温水センター浴場棟・プール棟等の10年間の賃貸借契約が令和2年度末で終了となり、新たな賃貸借契約では建物及び設備の減価償却に伴い普通財産貸付料で6,146千円の減によるものです。

主な内訳としては、普通財産貸付料として、温水センター浴場棟・プール棟等で8,926千円、大芝土地で2,739千円、入山津旧分署で1,095千円、物品売払収入として、消防廃車両の売却代で250千円を計上しました。

#### [ 6款 繰越金 ]

前年度当初予算額と同額の20,000千円を計上しました。

#### [ 7款 諸収入 ]

前年度当初予算額に対して4,487千円、6.9%減の60,801千円を計上しました。

減額となった要因は、雑入において、売却電気料金で7,700千円の増を見込んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により輸出が減少していることで、ごみ資源化物売却代やペットボトル等有償入札拠出金で12,463千円の減を見込んだことによるものです。

主な内訳としては、ごみ資源化物売却代で21,250千円、ペットボトル等有償入札拠出金で5,000千円、売却電気料金で27,700千円を計上しました。

#### [ 8款 組合債 ]

前年度当初予算額に対して347,300千円、36.5%減の603,000千円を計上しました。

減額となった要因は、新最終処分場建設事業の進捗に伴い清掃債で255,700千円、事業費の減に伴う消防債で91,600千円の減によるものです。

内容としては、ごみ焼却施設基幹的設備改良事業に対するごみ処理施設整備事業で414,100千円、高規格救急自動車及び消防ポンプ自動車更新に対する常備消防施設整備事業で57,800千円、消防機庫3棟新築及び2棟解体、消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ付積載車3台の更新に対する非常備消防施設整備事業で131,100千円の借入れを計上しました。

② 歳 出  
(目的別)

(単位：千円)

款	項	目	区 分	令和3年度当初		令和2年度当初		増減額③ ①－②	増減率(%) ③／②×100
				予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比		
1	議	会	費	2,099	0.0	2,103	0.0	△ 4	△ 0.2
2	総	務	費	166,754	2.5	188,009	2.8	△ 21,255	△ 11.3
3	民	生	費	42,221	0.7	41,962	0.6	259	0.6
	1	1	介護認定審査会費	35,739	0.6	35,585	0.5	154	0.4
	2	1	障害支援区分認定 審査会費	6,482	0.1	6,377	0.1	105	1.6
4	衛	生	費	3,157,146	48.1	3,243,887	47.9	△ 86,741	△ 2.7
	1		保健衛生費	305,327	4.6	291,451	4.3	13,876	4.8
		1	保健衛生総務費	256,265	3.9	244,607	3.6	11,658	4.8
		2	夜間急病診療所費	44,481	0.7	42,639	0.6	1,842	4.3
		3	温水センター屋外 施設費	4,581	0.0	4,205	0.1	376	8.9
	2		清 掃 費	2,851,819	43.5	2,952,436	43.6	△ 100,617	△ 3.4
		1	清掃総務費	178,116	2.7	123,569	1.8	54,547	44.1
		2	し尿処理費	136,996	2.1	141,419	2.1	△ 4,423	△ 3.1
		3	可燃物処理費	1,906,233	29.1	1,777,955	26.2	128,278	7.2
		4	不燃物処理費	183,959	2.8	231,645	3.4	△ 47,686	△ 20.6
		5	最終処分場費	205,730	3.1	199,725	3.0	6,005	3.0
		6	資源化推進費	190,966	2.9	179,855	2.7	11,111	6.2
		7	新最終処分場建設 費	49,819	0.8	298,267	4.4	△ 248,448	△ 83.3
		△	一般廃棄物処理施 設建設基金費	0	0.0	1	0.0	△ 1	皆減
5	消	防	費	2,612,836	39.8	2,735,195	40.3	△ 122,359	△ 4.5
		1	常備消防費	2,206,445	33.6	2,141,395	31.6	65,050	3.0
		2	非常備消防費	132,122	2.0	122,294	1.8	9,828	8.0
		3	常備消防施設費	93,076	1.4	315,829	4.6	△ 222,753	△ 70.5
		4	非常備消防施設費	181,193	2.8	155,677	2.3	25,516	16.4
6	教	育	費	18,347	0.3	18,612	0.3	△ 265	△ 1.4
7	公	債	費	542,222	8.3	527,115	7.8	15,107	2.9
8	予	備	費	20,000	0.3	20,000	0.3	0	0.0
			計	6,561,625	100.0	6,776,883	100.0	△ 215,258	△ 3.2

目的別の主な増減理由
------------

[ 1款 議会費 ]

前年度当初予算額に対して4千円、0.2%減の2,099千円を計上しました。

減額となった要因は、実績により会議録作成委託の減を見込んだことによる委託料で22千円の減などによるものです。

[ 2款 総務費 ]

前年度当初予算額に対して21,255千円、11.3%減の166,754千円を計上しました。

減額となった要因は、温水センター浴場棟・プール棟の施設修繕料の増額を見込んだことにより需用費で3,265千円の増となったものの、職員2人減による人件費で13,227千円、建物災害共済分担金などの計上科目を見直したことによる役務費で3,482千円、温水センター浴場棟・プール棟の設備更新を一部見送ったことによる工事請負費で7,269千円の減などによるものです。

[ 3款 民生費 ]

前年度当初予算額に対して259千円、0.6%増の42,221千円を計上しました。

( 1項 1目 介護認定審査会費 )

前年度当初予算額に対して154千円、0.4%増の35,739千円を計上しました。

増額となった要因は、審査件数2,100件の増を見込み、臨時審査会の開催を5合議体増としたことにより委員報酬で330千円の増などによるものです。

( 2項 1目 障害支援区分認定審査会費 )

前年度当初予算額に対して105千円、1.6%増の6,482千円を計上しました。

増額となった要因は、昇給などによる人件費で124千円の増によるものです。

[ 4款 衛生費 ]

前年度当初予算額に対して86,741千円、2.7%減の3,157,146千円を計上しました。

( 1項 保健衛生費 )

前年度当初予算額に対して13,876千円、4.8%増の305,327千円を計上しました。

< 1目 保健衛生総務費 >

前年度当初予算額に対して11,658千円、4.8%増の256,265千円を計上しました。

増額となった要因は、職員1人増などによる人件費で10,436千円の増などによるものです。

< 2目 夜間急病診療所費 >

前年度当初予算額に対して1,842千円、4.3%増の44,481千円を計上しました。

増額となった要因は、令和元年度に浸水被害を受けた受変電設備配線延長及び嵩上げ等による工事請負費として1,870千円を計上したことなどによるものです。

< 3目 温水センター屋外施設費 >

前年度当初予算額に対して376千円、8.9%増の4,581千円を計上しました。

増額となった要因は、テニスコート人工芝整備による委託料で407千円の増によるものです。

## ( 2項 清掃費 )

前年度当初予算額に対して100,617千円、3.4%減の2,851,819千円を計上しました。

### < 1目 清掃総務費 >

前年度当初予算額に対して54,547千円、44.1%増の178,116千円を計上しました。

増額となった要因は、各ごみ処理施設の運転管理業務委託が進み、職員は総合的な管理を担っていることから清掃費の人件費を集約したことなどにより51,083千円、5年ごとに策定が必要な一般廃棄物処理基本計画策定による委託料で3,745千円の増などによるものです。

### < 2目 し尿処理費 >

前年度当初予算額に対して4,423千円、3.1%減の136,996千円を計上しました。

減額となった要因は、実績により光熱水費の減を見込んだことによる需用費で4,920千円の減によるものです。

### < 3目 可燃物処理費 >

前年度当初予算額に対して128,278千円、7.2%増の1,906,233千円を計上しました。

増額となった要因は、人件費の集約により24,533千円、ごみ焼却施設総合定期点検の項目を一部見送ることなどにより委託料で3,476千円の減となったものの、債務負担行為を設定しているごみ焼却施設基幹的設備改良工事の年度内訳などによる工事請負費で204,065千円の増などによるものです。

### < 4目 不燃物処理費 >

前年度当初予算額に対して47,686千円、20.6%減の183,959千円を計上しました。

減額となった要因は、不燃ごみ収集業務やごみ受入選別作業等業務委託の長期継続契約更新の年であり、労務単価などの上昇による委託料で11,967千円の増となったものの、人件費の集約により10,979千円、施設部分更新工事の減による工事請負費で40,034千円の減などによるものです。

### < 5目 最終処分場費 >

前年度当初予算額に対して6,005千円、3.0%増の205,730千円を計上しました。

増額となった要因は、人件費の集約により24,333千円、嵩上げ工事に係る委託料で5,752千円の減となったものの、最終処分場嵩上げ工事に係る地元同意事業負担金による負担金補助及び交付金で59,297千円の増などによるものです。

### < 6目 資源化推進費 >

前年度当初予算額に対して11,111千円、6.2%増の190,966千円を計上しました。

増額となった要因は、修繕項目の減による需用費で1,235千円の減となったものの、ビン等収集業務やごみ受入選別作業等業務委託の長期継続契約更新の年であり、労務単価などの上昇による委託料で5,913千円、ペットボトル減容機部分更新による工事請負費で6,434千円の増によるものです。

### < 7目 新最終処分場建設費 >

前年度当初予算額に対して248,448千円、83.3%減の49,819千円を計上しました。

減額となった要因は、地下水の観測用井戸設置による工事請負費で8,921千円の増となったものの、事業進捗による委託料で25,487千円、公有財産購入費で159,390千円、補償補填及び賠償金で72,975千円の減などによるものです。

## [ 5款 1項 消防費 ]

前年度当初予算額に対して122,359千円、4.5%減の2,612,836千円を計上しました。

### < 1目 常備消防費 >

前年度当初予算額に対して65,050千円、3.0%増の2,206,445千円を計上しました。

増額となった要因は、感染症対策用防護服などによる消耗品費、計上科目の見直しにより3目から修繕料を集約したことに伴い需用費で9,809千円、委託料で3,836千円、備品購入費で6,248千円、負担金補助及び交付金で36,333千円、また、令和元年10月豪雨で崩落した味庄分署西側法面補修や老朽化した中央消防署救助訓練塔床更新工事により工事請負費で4,056千円の増などによるものです。

### < 2目 非常備消防費 >

前年度当初予算額に対して9,828千円、8.0%増の132,122千円を計上しました。

増額となった要因は、消防団の統廃合に伴い団員定数が22人の減となり報酬で504千円の減となったものの、計上科目の見直しに伴い4目から修繕料の集約により需用費で1,266千円、負担金補助及び交付金で9,488千円の増などによるものです。

### < 3目 常備消防施設費 >

前年度当初予算額に対して222,753千円、70.5%減の93,076千円を計上しました。

減額となった要因は、普通建設事業費に係るもの以外の計上科目を1目へ見直したことにより需用費で4,300千円、委託料で7,062千円、負担金補助及び交付金で33,968千円、また、更新車両の車種などにより備品購入費で、177,423千円の減によるものです。

### < 4目 非常備消防施設費 >

前年度当初予算額に対して25,516千円、16.4%増の181,193千円を計上しました。

構成市町村からの要望により消防機庫や消防団車両の整備を特別負担金で行うもので、増額となった要因は、更新車両の車種などにより備品購入費で9,579千円、また、計上科目の見直しに伴い修繕料の2目への集約により需用費で2,750千円、負担金補助及び交付金で13,762千円の減となったものの、消防機庫新築1棟の増により委託料で921千円、工事請負費で50,682千円の増などによるものです。

## [ 6款 教育費 ]

前年度当初予算額に対して265千円、1.4%減の18,347千円を計上しました。

減額となった要因は、教材の一部購入見送りにより備品購入費で305千円の減などによるものです。

## [ 7款 公債費 ]

前年度当初予算額に対して15,107千円、2.9%増の542,222千円を計上しました。

増額となった要因は、エコパーク長生建設事業で借り入れた元金償還が一部終了したことにより清掃債で709千円の減となったものの、長生分署建設事業で借り入れた元金償還額の増などにより消防債で15,816千円の増によるものです。



( 性質別 )

(単位:千円)

区 分	令和3年度当初		令和2年度当初		増減額③	増減率(%)
	予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比	①－②	③／②×100
人 件 費	2,452,431	37.4	2,461,009	36.3	△ 8,578	△ 0.3
物 件 費	1,738,318	26.5	1,725,193	25.5	13,125	0.8
維 持 補 修 費	209,077	3.2	213,790	3.1	△ 4,713	△ 2.2
扶 助 費	25,630	0.4	25,065	0.4	565	2.3
補 助 費 等	373,308	5.7	385,428	5.7	△ 12,120	△ 3.1
普 通 建 設 事 業 費	1,200,639	18.3	1,419,282	20.9	△ 218,643	△ 15.4
公 債 費	542,222	8.2	527,115	7.8	15,107	2.9
予 備 費	20,000	0.3	20,000	0.3	0	0.0
積 立 金	0	0.0	1	0.0	△ 1	皆減
計	6,561,625	100.0	6,776,883	100.0	△ 215,258	△ 3.2

性質別の主な増減理由

[ 人件費 ]

前年度当初予算額に対して8,578千円、0.3%の減となりました。

減額となった要因は、期末勤勉手当の0.05か月分の減を見込んだほか、職員の1人減によるものです。

[ 物件費 ]

前年度当初予算額に対して13,125千円、0.8%の増となりました。

増額となった要因は、ごみ処理施設部品や燃料費などの需用費や備品購入費の抑制などで減となるものの、新最終処分場基本計画等及び生活環境調査業務委託、各種ごみ収集業務委託及びごみ搬入室等受入選別作業等業務委託が長期継続契約の更新の年であり、労務単価などの上昇による委託料、2棟の消防機庫解体工事や4基の防火水槽撤去工事の要望による工事請負費の増によるものです。

[ 維持補修費 ]

前年度当初予算額に対して4,713千円、2.2%の減となりました。

減額となった要因は、令和元年10月豪雨により崩落した味庄分署西側法面補修工事や中央消防署訓練塔床更新工事、防火水槽漏水補修工事などで増となるものの、各ごみ処理施設及び温水センター浴場棟・プール棟の施設修繕の見送りなどの減によるものです。

[ 扶助費 ]

前年度当初予算額に対して565千円、2.3%の増となりました。

職員に係る児童手当を計上したものです。

[ 補助費等 ]

前年度当初予算額に対して12,120千円、3.1%の減となりました。

減額となった要因は、最終処分場嵩上げ工事や新最終処分場建設に係る地元同意事業負担金で増となるものの、新最終処分場建設事業の進捗により立竹木等補償費の減によるものです。

[ 普通建設事業費 ]

前年度当初予算額に対して218,643千円、15.4%の減となりました。

減額となった要因は、債務負担行為を設定しているごみ焼却施設基幹的設備改良事業の年度内訳、消防機庫新築3棟の要望などで増となったものの、新最終処分場建設事業の進捗により用地取得費、不燃ごみアルミ選別機改修工事、はしご付消防自動車更新の減によるものです。

[ 公債費 ]

前年度当初予算額に対して15,107千円、2.9%の増となりました。

増額となった要因は、エコパーク長生建設事業で借り入れた元金償還が一部終了したことにより清掃債で709千円の減となったものの、長生分署建設事業で借り入れた元金償還額の増などにより消防債で15,816千円の増によるものです。

## 主 要 事 業

1	庁舎及び普通財産等の管理		
	・温水センター浴場棟・プール棟施設等更新工事及び修繕		16,621千円
2	介護認定審査会・障害支援区分認定審査会の充実		
	・介護認定審査会の実施		35,739千円
	・障害支援区分認定審査会の実施		6,482千円
3	休日及び夜間救急医療の充実		
	・休日、夜間救急診療の実施等		300,746千円
4	温水センター屋外施設の充実		
	・スポーツ運動広場、テニスコートの維持補修等		4,581千円
5	環境衛生の充実		
	・し尿処理施設の運営（汚泥再生処理センター長期包括運營業務委託など）		136,996千円
	・ごみ受入選別作業等業務委託		86,262千円
	・可燃物収集業務委託		205,934千円
	・ごみ焼却施設運転管理業務委託		237,072千円
	・焼却灰運搬処理業務委託		142,155千円
	・ごみ焼却施設基幹的設備改良事業（平成30年度～令和4年度事業）		917,764千円
	・不燃物収集業務委託（燃えないごみ・粗大ごみ）		74,673千円
	・粗大ごみ処理施設運転管理業務委託		26,928千円
	・エコパーク長生浸出水処理施設運転管理業務委託		21,120千円
	・最終処分場嵩上げ事業（土木工事实施設設計等委託料、地元同意事業負担金）		59,569千円
	・新最終処分場建設事業（基本計画等及び生活環境影響調査業務委託など）		61,323千円
	・資源ごみ収集業務委託（紙類・ビン・缶・ペットボトルなど）		149,874千円
6	消防施設等の整備充実		
	・高規格救急自動車	1台（常備）	36,419千円
	・消防ポンプ自動車	1台（常備）	49,984千円
	・消防機庫新築	3棟（非常備）	113,956千円
	・消防ポンプ自動車	1台（非常備）	19,440千円
	・小型動力ポンプ付積載車	3台（非常備）	25,802千円
	・消火栓新設	7栓（非常備）	9,450円
7	視聴覚教育の充実		
	・視聴覚機材、学校教育用及び社会教育用DVD教材等の購入		2,977千円

令和3年度 特別会計 火葬場・斎場事業費予算(案)概要

① 歳入

(単位:千円)

款	区 分	令和3年度当初		令和2年度当初		増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
		予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比		
1	分担金及び負担金	101,558	69.8	104,465	69.4	△ 2,907	△ 2.8
2	使用料及び手数料	42,882	29.5	44,995	29.9	△ 2,113	△ 4.7
3	国庫支出金	1	0.0	-	-	1	皆増
4	寄附金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5	繰越金	1,000	0.7	1,000	0.7	0	0.0
6	諸収入	72	0.0	82	0.0	△ 10	△ 12.2
	計	145,514	100.0	150,543	100.0	△ 5,029	△ 3.3

主な増減理由

[ 1款 分担金及び負担金 ]

令和3年度特別会計火葬場・斎場事業費予算に占める負担金の割合は、69.8%で、前年度当初予算額に対して2,907千円、2.8%減の101,558千円を計上しました。

減額となった要因は、歳入では実績により、聖苑使用料など使用料及び手数料の減額を見込んだものの、歳出で光熱水費など需用費、委託料、工事請負費が減となったことによるものです。

[ 2款 使用料及び手数料 ]

前年度当初予算額に対して2,113千円、4.7%減の42,882千円を計上しました。

減額となった要因は、実績により聖苑使用料で1,532千円、霊柩車使用料で582千円の減を見込んだことによるものです。

[ 5款 繰越金 ]

前年度当初予算額と同額の1,000千円を計上しました。

[ 6款 諸収入 ]

前年度当初予算額に対して10千円、12.2%減の72千円を計上しました。

減額となった要因は、実績により自動販売機管理料の減を見込んだことによるものです。

② 歳出(目的別)

(単位:千円)

款	項	目	区 分	令和3年度当初		令和2年度当初		増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
				予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比		
1			事業費	144,514	99.3	149,543	99.3	△ 5,029	△ 3.4
	1	1	管理費	144,514	99.3	140,926	93.6	3,588	2.5
		△	霊柩車管理費	0	0.0	8,617	5.7	△ 8,617	皆減
2			予備費	1,000	0.7	1,000	0.7	0	0.0
			計	145,514	100.0	150,543	100.0	△ 5,029	△ 3.3

目的別の主な増減理由

[ 1款 事業費 ]

前年度当初予算額に対して5,029千円、3.4%減の144,514千円を計上しました。

減額となった要因は、人事異動による人件費で5,017千円の増となったものの、コロナ禍の新しい生活様式で、参列者の減少や通夜振舞いの減、通夜無しの日葬などにより光熱水費など需用費で3,094千円、事業項目の減による委託料で3,182千円、空調機等改修工事の項目減などによる工事請負費で3,091千円の減によるものです。

また、計上の変更により聖苑管理費と霊柩車管理費を集約し、管理費としました。

(性質別)

(単位:千円)

区 分	令和3年度当初		令和2年度当初		増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
	予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比		
人 件 費	37,372	25.7	32,355	21.5	5,017	15.5
物 件 費	68,577	47.1	75,280	50.0	△ 6,703	△ 8.9
維 持 補 修 費	34,965	24.0	36,456	24.2	△ 1,491	△ 4.1
補 助 費 等	520	0.4	541	0.3	△ 21	△ 3.9
普 通 建 設 事 業 費	3,080	2.1	4,911	3.3	△ 1,831	△ 37.3
予 備 費	1,000	0.7	1,000	0.7	0	0.0
計	145,514	100.0	150,543	100.0	△ 5,029	△ 3.3

性質別の主な増減理由
------------

## [ 人件費 ]

前年度当初予算額に対して5,017千円、15.5%の増となりました。

増額となった要因は、期末勤勉手当で0.05か月分の減を見込んだものの、人事異動により増となりました。

## [ 物件費 ]

前年度当初予算額に対して6,703千円、8.9%の減となりました。

減額となった要因は、コロナ禍の新しい生活様式で、参列者の減少や通夜振舞いの減、通夜無しの一日葬などにより光熱水費などの需用費、事業項目の減による委託料の減によるものです。

## [ 維持補修費 ]

前年度当初予算額に対して1,491千円、4.1%の減となりました。

減額となった要因は、火葬炉設備更新工事で増となったものの、空調機等改修工事の減によるものです。

施設の性質上、不具合による休止ができないことから、いずれも計画的に更新等を行っており、項目の内容により増減するものです。

## [ 補助費等 ]

前年度当初予算額に対して21千円、3.9%の減となりました。

減額となった要因は、自動車損害保険料による役務費の減によるものです。

## [ 普通建設事業費 ]

前年度当初予算額に対して1,831千円、37.3%の減となりました。

減額となった要因は、事業項目の減による工事請負費、備品購入費の減によるものです。

## 主 要 事 業

## 1 火葬場・斎場の管理

・火葬業務委託	27,021千円
・屋内清掃管理業務委託	9,442千円
・空調機等改修工事	11,660千円
・火葬炉設備更新工事	18,896千円

## 令和3年度水道事業会計予算(案)概要

[業務量の見込み]

項目	令和3年度	令和2年度	増減	増減率(%)	
1. 給水戸数	63,755 戸	63,478 戸	277 戸	0.4	
2. 給水人口	140,102 人	141,057 人	△ 955 人	△ 0.7	
3. 年間総給水量	18,906,000 m <sup>3</sup>	18,926,000 m <sup>3</sup>	△ 20,000 m <sup>3</sup>	△ 0.1	
内訳	(1) 受水	15,218,320 m <sup>3</sup>	15,235,000 m <sup>3</sup>	△ 16,680 m <sup>3</sup>	△ 0.1
	(2) 地下水	3,687,680 m <sup>3</sup>	3,691,000 m <sup>3</sup>	△ 3,320 m <sup>3</sup>	△ 0.1
4. 一日平均給水量	51,797 m <sup>3</sup>	51,852 m <sup>3</sup>	△ 55 m <sup>3</sup>	△ 0.1	

### 1. 水道事業収益及び費用について (税込み)

#### (水道事業収益)

水道事業収益は、前年度当初予算額に対して48,541千円、1.0%減の5,013,114千円を計上しました。

1 項営業収益は、前年度当初予算額に対して44,106千円、1.1%減の3,956,291千円で、その内訳として、1 目給水収益は、営業用、工場用の使用水量の減少を見込み、43,153千円減の3,940,788千円を計上しました。

2 目受託工事収益は、前年度と同額の1,100千円を計上し、3 目その他営業収益は、手数料及びその他営業収益として953千円減の14,403千円を計上しました。

次に、2 項営業外収益は、前年度当初予算額に対して4,435千円、0.4%減の1,056,820千円で、その内訳として、2 目給水申込納付金は新規申込件数の減少により10,210千円減の112,138千円を計上しました。

3 目市町村負担金は、高料金対策補助金として前年度と同額の402,900千円を計上し、4 目県補助金は、千葉県市町村水道総合対策事業助成要綱に基づく控除を見込み、878千円増の381,749千円を計上しました。

5 目長期前受金戻入は、補助金・負担金等により取得した資産に係る減価償却費見合い分を収益化したもので、4,723千円増の158,414千円を計上しました。

6 目雑収益は、図面複写料金等を見込み、120千円増の1,563千円を計上しました。

(単位：千円)

款	項目	令和3年度 当初予算額①	令和2年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
1	水道事業収益	5,013,114	5,061,655	△ 48,541	△ 1.0
	1 営業収益	3,956,291	4,000,397	△ 44,106	△ 1.1
	1 給水収益	3,940,788	3,983,941	△ 43,153	△ 1.1
	2 受託工事収益	1,100	1,100	0	0.0
	3 その他営業収益	14,403	15,356	△ 953	△ 6.2
	2 営業外収益	1,056,820	1,061,255	△ 4,435	△ 0.4
	1 受取利息及び配当金	56	2	54	2,700.0
	2 給水申込納付金	112,138	122,348	△ 10,210	△ 8.3
	3 市町村負担金	402,900	402,900	0	0.0
	4 県補助金	381,749	380,871	878	0.2
	5 長期前受金戻入	158,414	153,691	4,723	3.1
	6 雑収益	1,563	1,443	120	8.3
3	特別利益	3	3	0	0.0

**(水道事業費用)**

水道事業費用は、前年度当初予算額に対して26,734千円、0.6%増の4,787,817千円を計上しました。

1項営業費用は、前年度当初予算額に対して29,311千円増の4,551,163千円で、その内訳として、1目原水及び浄水費は、6,306千円減の2,716,413千円を計上しました。そのうち、九十九里地域水道企業団へ支払う受水費は、受水量が16,180m<sup>3</sup>減少したことにより、303千円減の2,428,611千円を計上しました。

2目配水及び給水費は、主に漏水修理工事等の給水施設の維持管理に係る経費で、53千円増の395,957千円を計上しました。

3目受託工事費は、前年度と同額の1,100千円を計上しました。

4目業務費は、主に水道料金の検針及び集金に係る経費で、958千円増の286,179千円を計上しました。

5目総係費は、PCB廃棄物処理業務委託、九十九里地域末端給水事業体の統合に係る負担金等の増加により、11,302千円増の150,457千円を計上しました。

6目減価償却費は、配水管等の有形固定資産を定額法で算出し、23,781千円増の968,913千円を計上しました。

次に2項営業外費用は、前年度当初予算額に対して12,577千円、5.3%減の226,651千円で、その内訳として1目支払利息及び企業債取扱諸費は、14,370千円減の174,027千円を計上しました。

2目消費税及び地方消費税は、仮受消費税から仮払消費税を控除した納税額で、1,571千円増の52,101千円を計上しました。

4項予備費は、施設の応急修繕や災害に伴う復旧費用として、10,000千円を計上しました。

(単位：千円)

款	項目	区分	令和3年度 当初予算額①	令和2年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100	
1	水道事業費用		4,787,817	4,761,083	26,734	0.6	
	1	営業費用	4,551,163	4,521,852	29,311	0.6	
		1	原水及び浄水費	2,716,413	2,722,719	△ 6,306	△ 0.2
			受水費	2,428,611	2,428,914	△ 303	△ 0.0
		2	配水及び給水費	395,957	395,904	53	0.0
		3	受託工事費	1,100	1,100	0	0.0
		4	業務費	286,179	285,221	958	0.3
		5	総係費	150,457	139,155	11,302	8.1
		6	減価償却費	968,913	945,132	23,781	2.5
		7	資産減耗費	22,142	22,619	△ 477	△ 2.1
		8	その他営業費用	10,002	10,002	0	0.0
	2	営業外費用	226,651	239,228	△ 12,577	△ 5.3	
		1	支払利息及び企業債取扱諸費	174,027	188,397	△ 14,370	△ 7.6
		2	消費税及び地方消費税	52,101	50,530	1,571	3.1
		3	雑支出	523	301	222	73.8
	3	特別損失	3	3	0	0.0	
	4	予備費	10,000	10,000	0	0.0	

予定損益計算書について

(単位：千円)

区分	予算額 (税込み額) ①	消費税等相当額 ②	消費税等納付額 ③	当年度純利益 ④=①-(②+③)
水道事業収益(A)	5,013,114	368,501		4,644,613
水道事業費用(B)	4,787,817	237,900	52,101	4,497,816
差 額(A)-(B)	225,297	130,601	△ 52,101	146,797

(単位：千円)

区分	令和3年度 当初予算額①	令和2年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
当年度純利益	146,797	203,668	△ 56,871	△ 27.9

## 2. 資本的収入及び支出について（税込み）

### （資本的収入）

資本的収入は、前年度当初予算額に対して12,694千円、1.8%減の698,972千円を計上しました。

1項企業債1目企業債は、配水管更新工事等の建設改良事業の財源として、前年度当初予算額に対して1,000千円、0.2%減の581,000千円を計上しました。

2項国庫補助金1目国庫補助金は、重要給水施設配水管耐震化事業の財源として、千葉県生活基盤施設耐震化等交付金により、443千円減の27,666千円を計上しました。

3項負担金1目負担金は、前年度当初予算額に対して11,443千円、11.7%減の86,290千円を計上し、4項雑収入1目雑入は、負担金工事に係る設計手数料によるもので、前年度当初予算額に対して192千円、5.0%増の4,016千円を計上しました。

（単位：千円）

款	項	目	令和3年度 当初予算額①	令和2年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
1	資本的収入		698,972	711,666	△ 12,694	△ 1.8
	1	企業債	581,000	582,000	△ 1,000	△ 0.2
		1 企業債	581,000	582,000	△ 1,000	△ 0.2
	2	国庫補助金	27,666	28,109	△ 443	△ 1.6
		1 国庫補助金	27,666	28,109	△ 443	△ 1.6
	3	負担金	86,290	97,733	△ 11,443	△ 11.7
		1 負担金	86,290	97,733	△ 11,443	△ 11.7
	4	雑収入	4,016	3,824	192	5.0
		1 雑入	4,016	3,824	192	5.0

### （資本的支出）

資本的支出は、前年度当初予算額に対して25,402千円、1.4%減の1,814,629千円を計上しました。

1項建設改良費は、前年度当初予算額に対して96,795千円、8.7%減の1,010,553千円で、その内訳として1目消火栓工事費は、消火栓設置数の減少により1,550千円減の9,450千円を計上しました。

2目建設事務費は、配水管設計業務委託等の減少により9,299千円減の48,893千円を計上しました。

3目原水施設費は、取水浄水施設更新等に係る費用といたしまして、非常用発電機更新及び導水管布設替え工事等を実施しますが、水質監視装置及び更新工事等の減少により、18,117千円減の114,483千円を計上しました。

4目配水施設費は、配水施設更新等に係る費用といたしまして、老朽化した配水管布設替え工事や流量計室計装盤更新工事等を実施しますが、下水道事業等による負担金工事の減少により、65,766千円減の824,275千円を計上しました。

5目営業設備費は、深井戸用水中モーターポンプ購入や水質に係る計測機器購入等により2,063千円減の13,452千円を計上しました。

次に2項企業債償還金1目企業債償還金は、前年度当初予算額に対して71,393千円、9.7%増の804,076千円を計上しました。

（単位：千円）

款	項	目	令和3年度 当初予算額①	令和2年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
1	資本的支出		1,814,629	1,840,031	△ 25,402	△ 1.4
	1	建設改良費	1,010,553	1,107,348	△ 96,795	△ 8.7
		1 消火栓工事費	9,450	11,000	△ 1,550	△ 14.1
		2 建設事務費	48,893	58,192	△ 9,299	△ 16.0
		3 原水施設費	114,483	132,600	△ 18,117	△ 13.7
		4 配水施設費	824,275	890,041	△ 65,766	△ 7.4
		5 営業設備費	13,452	15,515	△ 2,063	△ 13.3
	2	企業債償還金	804,076	732,683	71,393	9.7
		1 企業債償還金	804,076	732,683	71,393	9.7

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,115,657千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金等で補てんするものです。



## 主 要 事 業

1	消火栓工事費	
	・ 地下式消火栓設置工事（7栓）	9,450 千円
2	建設事務費	
	・ 水道施設台帳作成業務委託	8,250 千円
	・ 配水管布設替え設計業務委託	6,479 千円
	・ 管路更新5か年計画策定業務委託	3,850 千円
	・ 資材価格調査業務委託	1,892 千円
3	原水施設費	
	・ 非常用発電機更新工事（真名配水場）	47,520 千円
	・ 導水管布設替え工事（L=112m）（山之郷浄水場2系導水路）	13,860 千円
	・ 受変電設備更新工事（真名配水場）	10,340 千円
	・ 取水井情報伝送装置更新工事（皿木系取水井）	6,600 千円
	・ 取水井建屋補強工事（皿木系取水井）	6,127 千円
	・ 原水濁度計更新工事（皿木浄水場）	5,500 千円
	・ ろ過機電動弁更新工事（山之郷浄水場）	5,483 千円
4	配水施設費	
	・ 配水管（経年管）布設替え工事（L=5,295m）	508,901 千円
	・ 真名減圧施設築造工事（制御盤設置・外構）	155,727 千円
	・ 下水道事業等に伴う配水管移設工事（L=1,103m）	64,378 千円
	・ 道路改良等に伴う配水管布設替え工事（L=218m）	37,673 千円
	・ 給水ポンプ設備更新工事（大沢配水場）	20,460 千円
	・ 計装盤更新工事（本郷流量計室）	17,600 千円
	・ 流入調整弁更新工事（中善寺加圧ポンプ場）	7,260 千円
5	営業設備費	
	・ 深井戸用水中モーターポンプ（4台）	6,160 千円

## 令和3年度病院事業会計予算（案）概要

### 〔業務量の見込み〕

項 目	令和3年度	令和2年度	増 減	増減率(%)	
1. 病床数	180 床	180 床	0 床	0.0	
2. 年間患者数	入院（年延）	36,500 人	36,500 人	0 人	0.0
	診療日数	365 日	365 日	0 日	
	1日平均	100 人	100 人	0 人	
	外来（年延）	79,860 人	89,910 人	△ 10,050 人	△ 11.2
	診療日数	242 日	243 日	△ 1 日	
	1日平均	330 人	370 人	△ 40 人	

### 1. 病院事業収益及び費用について（税込み）

#### （病院事業収益）

病院事業収益は、前年度当初予算額に対して103,081千円、3.1%減の3,206,433千円を計上しました。

1 項医業収益は、前年度当初予算額に対して104,920千円、4.1%減の2,466,397千円で、その内訳として、1 目入院収益は、1 日平均患者数を100人、1 人1 日当りの診療単価を39,500円、診療日数を365日と見込み、18,250千円増の1,441,750千円を計上しました。

2 目外来収益は、1 日平均患者数を330人、1 人1 日当りの診療単価を9,250円、診療日数を242日と見込み、115,440千円減の738,705千円を計上しました。

3 目その他医業収益は、室料差額収益、健康診断等の公衆衛生活動収益及び人間ドック等の医療相談収益等で、8,041千円減の133,942千円を計上しました。

4 目市町村負担金は、救急医療に要する経費で311千円増の152,000千円を計上しました。

次に、2 項医業外収益は、前年度当初予算額に対して1,839千円、0.2%増の740,035千円で、その内訳として2 目市町村負担金は、高度医療及び小児医療等に要する構成市町村からの負担金で34,810千円増の619,783千円を計上しました。

3 目補助金は、県の救急基幹センター運営費補助金等で、前年度当初予算額と同額の9,138千円を計上しました。

4 目長期前受金戻入は、補助金・負担金等により取得した資産に係る減価償却費見合い分を収益化したもので、26,734千円減の80,883千円を計上しました。

5 目その他医業外収益は、自動販売機の売上手数料や他医療機関への医師派遣料等で、2,637千円減の18,229千円を計上しました。

6 目売店収益は、3,600千円減の12,000千円を計上しました。

（単位：千円）

款	項	目	区分	令和3年度 当初予算額①	令和2年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
1	病院事業収益			3,206,433	3,309,514	△ 103,081	△ 3.1
	1	医業収益		2,466,397	2,571,317	△ 104,920	△ 4.1
		1	入院収益	1,441,750	1,423,500	18,250	1.3
		2	外来収益	738,705	854,145	△ 115,440	△ 13.5
		3	その他医業収益	133,942	141,983	△ 8,041	△ 5.7
		4	市町村負担金	152,000	151,689	311	0.2
	2	医業外収益		740,035	738,196	1,839	0.2
		1	受取利息配当金	1	1	0	0.0
		2	市町村負担金	619,783	584,973	34,810	6.0
		3	補助金	9,138	9,138	0	0.0
		4	長期前受金戻入	80,883	107,617	△ 26,734	△ 24.8
		5	その他医業外収益	18,229	20,866	△ 2,637	△ 12.6
		6	売店収益	12,000	15,600	△ 3,600	△ 23.1
		7	消費税及び地方消費税 還付金	1	1	0	0.0
	3	特別利益		1	1	0	0.0
		1	その他特別利益	1	1	0	0.0

(病院事業費用)

病院事業費用は、前年度当初予算額に対して100,953千円、3.1%減の3,203,405千円を計上しました。

1項医業費用は、前年度当初予算額に対して81,562千円、2.5%減の3,163,103千円で、その内訳として、1目給与費は、25,576千円減の2,008,757千円を計上しました。

2目材料費は、医薬品及び診療材料費等で、24,793千円減の512,207千円を計上しました。

3目経費は、光熱水費、修繕費及び委託料等で、13,704千円増の483,492千円を計上しました。

4目減価償却費は、有形固定資産を定額法により算出したもので、44,897千円減の144,177千円を計上しました。

5目資産減耗費は、前年度当初予算額と同額の5,470千円を計上しました。

6目研究研修費は、前年度当初予算額と同額の9,000千円を計上しました。

2項医業外費用は、前年度当初予算額に対して19,391千円、32.5%減の40,301千円で、その内訳として1目支払利息及び企業債取扱諸費は、259千円減の5,499千円を計上しました。

2目売店費用は、3,500千円減の8,500千円を計上しました。

3目消費税及び地方消費税は、納税額で前年度当初予算額と同額の11,170千円を計上しました。

4目雑支出は、修学資金貸付金返還債務の免除等で11,400千円減の9,601千円を計上しました。

5目長期前払消費税勘定償却は、4,232千円減の5,531千円を計上しました。

(単位:千円)

款	項	目	区 分	令和3年度 当初予算額①	令和2年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
1			病院事業費用	3,203,405	3,304,358	△ 100,953	△ 3.1
	1		医業費用	3,163,103	3,244,665	△ 81,562	△ 2.5
		1	給与費	2,008,757	2,034,333	△ 25,576	△ 1.3
		2	材料費	512,207	537,000	△ 24,793	△ 4.6
		3	経費	483,492	469,788	13,704	2.9
		4	減価償却費	144,177	189,074	△ 44,897	△ 23.7
		5	資産減耗費	5,470	5,470	0	0.0
		6	研究研修費	9,000	9,000	0	0.0
	2		医業外費用	40,301	59,692	△ 19,391	△ 32.5
		1	支払利息及び企業債取扱諸費	5,499	5,758	△ 259	△ 4.5
		2	売店費用	8,500	12,000	△ 3,500	△ 29.2
		3	消費税及び地方消費税	11,170	11,170	0	0.0
		4	雑支出	9,601	21,001	△ 11,400	△ 54.3
		5	長期前払消費税勘定償却	5,531	9,763	△ 4,232	△ 43.3
	3		特別損失	1	1	0	0.0
		1	その他特別損失	1	1	0	0.0

(単位:千円)

区 分	令和3年度 当初予算額①	令和2年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
経 常 収 支	3,028	5,156	△ 2,128	△ 41.3
当 期 純 損 益	3,028	5,156	△ 2,128	△ 41.3

## 2. 資本的収入及び支出について(税込み)

### (資本的収入)

資本的収入は、前年度当初予算額に対して67,079千円、112.1%増の126,935千円を計上しました。

1項企業債1目企業債は、医療機器整備分及びC棟エレベーター改修工事分として、前年度当初予算額に対して102,200千円、1310.3%増の110,000千円を計上しました。

2項市町村負担金1目市町村負担金は、企業債元金償還金に要する経費とし、繰出基準に基づく市町村からの負担金で、前年度当初予算額に対して35,121千円、67.5%減の16,934千円を計上しました。

3項修学資金貸付金返還金1目修学資金貸付金返還金は、項建てとして1千円を計上しました。

(単位:千円)

款	項	目	区 分	令和3年度 当初予算額①	令和2年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
1			資本的収入	126,935	59,856	67,079	112.1
	1		企業債	110,000	7,800	102,200	1310.3
		1	企業債	110,000	7,800	102,200	1310.3
	2		市町村負担金	16,934	52,055	△ 35,121	△ 67.5
		1	市町村負担金	16,934	52,055	△ 35,121	△ 67.5
	3		修学資金貸付金返還金	1	1	0	0.0
		1	修学資金貸付金返還金	1	1	0	0.0

### (資本的支出)

資本的支出は、前年度当初予算額に対して32,378千円、28.1%増の147,467千円を計上しました。

1項建設改良費は、前年度当初予算額に対して65,010千円、144.5%増の110,000千円で、その内訳として、1目資産購入費は、プラズマガス滅菌器、多項目自動血球分析装置等の医療機器整備分として、39,010千円増の84,000千円を計上しました。

2目改修工事費は、C棟エレベーター改修工事分として、26,000千円を計上しました。

2項企業債償還金1目企業債償還金は、前年度当初予算額に対して33,832千円、50.0%減の33,867千円を計上しました。

3項投資1目その他投資は、前年度当初予算額に対して1,200千円、50.0%増の3,600千円を計上しました。これは、看護師確保のための修学資金貸付金です。

(単位:千円)

款	項	目	区 分	令和3年度 当初予算額①	令和2年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
1			資本的支出	147,467	115,089	32,378	28.1
	1		建設改良費	110,000	44,990	65,010	144.5
		1	資産購入費	84,000	44,990	39,010	86.7
		2	改修工事費	26,000	0	26,000	皆増
	2		企業債償還金	33,867	67,699	△ 33,832	△ 50.0
		1	企業債償還金	33,867	67,699	△ 33,832	△ 50.0
	3		投資	3,600	2,400	1,200	50.0
		1	その他投資	3,600	2,400	1,200	50.0

資本的収入額が資本的支出額に不足する額20,532千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金等で補てんするものです。